

学習計画（シラバス）

| 教科 | 科目 | 対象学年 | 単位数 | 教科書 著書・発行所 | 使用教材・発行所 |
|------------|---|--|--|---------------|----------|
| 家庭 | 家庭総合 | 2 | 2 | 「家総703家庭総合」 | 実教出版 |
| 指導の重点 | 1 人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭、衣食住、消費や環境など、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらにかかわる技能を身につけるようにする。 2 家庭や地域及び社会における生活の中から課題を見いだして課題を設定、解決策を構想・実践、考察するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。 3 さまざまな人と協働し、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。 | | | | |
| 評価の観点 | 知識・技能 | 人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会とのかかわりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかわる技能を身につけている。 | | | |
| | 思考・判断・表現 | 生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から課題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考案したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。 | | | |
| | 主体的に学習に取り組む態度 | さまざまな人と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。 | | | |
| 学習の評価 | 1 定期考査や課題テストで「知識・理解」「思考・判断・表現」を評価する。 2 授業中のペアワークやグループワーク、発表、提出レポート等で「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 3 課題提出で「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 4 上記の1～3で総合的に年間の評価を行う。 | | | | |
| 学期 | 単元 | 学習内容 | 学習の目標 | | |
| 1 学期 | 消費行動を考える | 消費行動と意思決定 | <ul style="list-style-type: none"> 自分の消費行動について検証することができる。 契約についての知識を身に付けている。 消費行動における意思決定の過程について、具体的な事例を主体的に考え、判断することができる。 多様化する販売方法や支払い方法について、問題点や解決策を考え判断することができる。 消費者であることを自覚し、消費行動、消費と環境との関わり、権利と責任について積極的に理解しようとする。 | | |
| | | 消費生活の現状と課題 | | | |
| 消費者の権利と責任 | | | | | |
| ライフスタイルと環境 | | | | | |
| | 住生活をつくる | <ul style="list-style-type: none"> 人間と住まい 住まいの文化 住まいを計画する 健康に配慮した快適な室内環境 安全な住まい | <ul style="list-style-type: none"> 住居の機能や気候・風土とのかかわりに関心を持ち、各地の気候・風土に適した住まいを理解している。 健康的な住まい環境における基本的な知識が理解できる。 住まいの安全対策、住まいにおける健康管理など、実生活に役立てることができる。 安全な住まい作りや、快適な住環境のための課題に気がつき、その課題解決のための方策を考えることができる。 住まいの管理方法（掃除等）について考え判断することができる。 住まいの機能や、快適な住まいづくり、よりよい住生活の創造に向けて意欲的に取り組もうとする。 | | |
| 2 学期 | 子どもとかかわる | 子どもの発達 子どもの生活 子どもをはぐくむ | <ul style="list-style-type: none"> 子どもの心身の発達や生活についての知識を身に付けている。 生命の尊さ、子育ての意義について理解することができる。 子どもの発達段階において、人とかかわり、地域環境・社会環境の重要性、福祉について理解できる。 子どもの心身の発達、現在の子どもを取り巻く状況や子育ての環境について、課題を見つけ、解決への考えをまとめる。 子育ての環境や地域社会や国の支援策や課題について考え、解決方法をまとめることができる。 子どもの世界について自分の子どもの頃を思い起こしながら興味関心を持ち、子どもの生活について、積極的に子どもとかかわりながら理解しようとする。 | | |
| | 衣生活をつくる | <ul style="list-style-type: none"> 人と衣服のかかわり 衣服の素材の種類と特徴 衣服をつくろう | <ul style="list-style-type: none"> 衣服の素材の種類や特徴について知識を身に付け、用途に応じてどんな衣服が適切か理解できる。 布製品の制作を通じて、糸と針を使用した手縫いの方法やミシンの使い方を理解できる。 衣服の用途によって快適な衣服素材を考え、判断することができる。 布製品を作成し、作品にボタンをつけるなど自分らしさを表現することができる。 実習において、制作活動に意欲的に取り組んでいる。 衣生活を取り巻く状況について関心を持ち、改善向上に積極的に取り組もうとする。 | | |
| 3 学期 | 経済的に自立する | 暮らしと経済 将来のライフプランニング | <ul style="list-style-type: none"> 短期・長期の経済計画にかかわる人生設計を組み立てることができる。 将来のライフイベントとその費用を考えることができる。 自分の経済的自立を考えながら、家計の特徴について積極的に理解しようとし、短期・長期の経済計画について意欲的に取り組もうとしている。 | | |